

# 未来へつなぐ架け橋～市民の安心・安全を守るために～

—— さいたま市の長寿命化修繕計画は橋梁の良好な保全を目的としています

橋の点検だよ！

あつ

お隣の橋本さん！  
何をしているのですか？

さいたま市には **965** の橋があり、そのほとんどが橋齢 50 歳以下の若い橋。

つまり 30 年後には高齡化した橋が全体の **7 割** になり、補修費用が一斉に必要なとなるんだよ。

ニュースで聞く年間問題みたい...

すごい額の税金が必要になるんじゃない？  
橋の安全は大丈夫？

それ、その通り！だから！

前もって点検・調査することで最も効率的な補修時期と工法そして費用も算出できるんだ。

よって橋の大小によって点検内容をよ変えているよ

管理のやりかたを変えていくことにしたんだよ！！

今までは… **対症療法型**  
損傷が大きくなった時に補修・更新を行う管理方法

これからは **予防保全型**  
点検・調査のうえ、状態を予測して計画的に維持管理

人間のカラダだって早期発見・早期治療すれば、大事にいたらない。

劣化が進んでからの補修は、大がかりな交通規制や仮橋工事などで不便なうえ、コストもかかってしまうんだ。

定期的な点検することで橋の病気(損傷)がいろいろ見つかるんだ。

鉄筋露出

よかったです。これでもう安心ね！

傷が小さいうちに直せばコストも最小限！しかもいつでも安全な橋になるんだ！！

防食機能の劣化

赤いところは塗料が削がれています

長寿命化修繕計画とは、橋を私たちの資産ととらえて中長期的な視点で橋を維持管理することにより、コストを抑え、橋を長持ちさせる方法です。つまりそれは、私たちの安全を守り、税金を効率活用していくことなのです。

構造物は劣化し、劣化曲線というものがあつんだよ。

劣化曲線

補修

補修

目標管理水準

維持管理費総額

大

なるほど！  
効率的！

補修までの期間が長いとそれだけ大がかりな補修や架け替えが必要になる…

そこで

目標管理水準を高く設定し、劣化が進む前に補修します

目標管理水準

劣化曲線

補修

補修

補修

維持管理費総額

小

目標管理水準を高く設定して早め早めの対策を取ることが大事！

一つ一つの橋に対し調査を行ったうえで、①利用頻度の高い橋や避難経路に架かる橋など緊急性を要するか、②いつ、どのような工法の補修が最適か、など様々なことを考慮し、中長期の維持管理計画をたて、実行していきます。

調査点検 → データベース化 → 優先順位の検討 → 橋ごとに最適な補修工法の検討 → 予算の配分計画 → 中長期計画策定 → 実行

定期的な計画を見直して、必要があれば改善を行う

**社会資本である橋の延命化、安全性の確保** + **大切な税金の効率的な活用**

公共事業のコスト意識が求められるなか、さいたま市の長寿命化修繕計画は未来へ向けて橋を守るために、効率的・効果的な方法なのです。